

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トランジットジュニア				公表日	2026年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		段差をなくし、床配線のコードレス化をしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全ての意見を業務改善に繋げられるわけではないが、通所する・している学生に必要であれば実施している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		療育に関する研修やカリキュラムの質向上のための研修を受講している		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		令和6年3月より、ホームページに公表済み		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		就労準備型なので、保護者・スタッフよりも本人の意思を最重要視し、自立・自己判断できるよう計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		全職員参加の支援会議を実施。必要に応じて、学校や併用している放課後等デイサービスと連絡を取り合っ支援の内容を協議することがある		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		就労系アセスメントを事業所ツールとして標準化。それ以外のアセスメント内容は、日々の支援記録に記載		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		四半期ごとにカリキュラムや支援の内容をブラッシュアップする期間を設けている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	個別活動がメインだが、本人・保護者の意思に応じて、集団での対人交流技能を学ぶ機会も提供している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日始業時にミーティング実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	勤務時間が遅いため、毎日翌始業時にミーティングにて、前日の振り返りと、当日の動きの確認を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも3ヶ月に1度モニタリングを実施している。成長度合いに合わせ、本人の意向を反映させた支援計画を作成している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		現場レベルとガイドラインでは違いが出る場面もあるため、臨機応変に適用できるようにしている	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		「正しい自己決定は、豊富な選択肢があることから」と意識し、様々な方法から自己決定できるようにサポートをしている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		営業時間内には参加。担当者会議が開かれたり、ヒアリングされることが殆どない。個別支援計画は相談支援事業所に共有	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		自立サポート支援の一環として、高校2年、3年生はより密に連携している	学校と連携を取り合い、学校だから学べる部分と、放課後等デイサービスだからサポートできる部分など多角的な支援ができるよう工夫して進める
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	中高生が多いため、就学前の機関と関わる機会が少ない。相談支援事業所と情報を共有することはある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		自立サポート支援の一環として、情報共有したり連携を取って進めている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	定期巡回時	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の高校生をボランティアでよび、希望する学生が交流する機会がある	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		札幌市から案内があれば参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		「あしあと帳。」という独自ツール を使用している。契約時にログイン の説明も行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参 加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		低学年の児童がおらず、通所児童は 自立心がある。保護者からの相談は いつでも受け付けており、相談体制 を整えている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明 を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得 ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			相談がある場合は、個別相談時間を 設けている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する 等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設け る等の支援をしているか。	○			半年に1度保護者会を実施している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこど もや保護者に対して発信しているか。	○			ホームページブログやSNS、「あしあ と帳。」などの電子ツールを活用し 発信している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			新人スタッフ入社時やスタッフ退職 時に説明し、徹底している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	○			「あしあと帳。」というオリジナル ネットワークを使用している。プリ ントや電話やLINEなど、各家庭に合 わせて対応
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。	○			行事に招待することは無いが、近隣 店から仕事依頼をもらったり、事業 所見学をしてもらうなど、必要に応 じて地域との交流を行っている

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に数回建物自体の避難訓練がある。全員が見れる場所に、避難方法・避難場所に関する動画を掲載	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		頓服薬を服用している学生を把握し、状況に応じた最短・最適な対応ができるように、対応方法をスタッフで確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事提供を行っていない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行うことがない		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トランジットジュニア lit		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 9日		～ 2026年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 30
○従業員評価実施期間	2026年 3月 27日		～ 2026年 3月 30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>【環境面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く明るい空間で、一人一人の活動スペースが確保されている ・1人1台パソコンが使えるため、自分のペースで取り組める ・個別活動のため、開所時間中は好きな時間に通所できる ・カリキュラム別に構造化している 	<ul style="list-style-type: none"> ・「仕事」を意識しながら過ごせるようにしている ・自立度をあげるために自分で使ったものは自分で片付ける、身の回りを整えるなど今後も当たり前になることを教えている ・ゲーミングエリア、イラストエリア、休憩スペースなど構造化し、学生がわかりやすく過ごせるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に気持ちよく使えるように環境整備を続ける
2	<p>【個別支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来は6ヶ月に1度だが、3ヶ月に1度モニタリングを行い、1人ひとりのニーズに合わせた個別支援を行っている ・自分では気づけない成長を言語化して伝え、学生とともに成長を喜んでいる ・豊富なカリキュラムを用意し、色々なことにチャレンジする機会を創出している 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画はガイドラインに基づきスタッフ全員でアセスメント、児発管がモニタリングし個別支援会議で今後の支援の方向性をまとめて日々の支援を行っている 	
3	<p>【保護者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あしあと帳。」というWebツールを使い、家庭でも状況を確認できるようにしている。その中で不明点や改善点があれば都度教えてもらい、支援をブラッシュアップしている ・半年に1度保護者会を実施し、同じ悩みを持つ保護者が気持ちを楽にできるような機会を提供している 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEや電話等で悩み相談を行い、日常のことを気軽に相談できる場所としている ・事業所内だけではなく、系列事業所の保護者とも交流する機会を作っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡頻度を高め、安心して通える環境を整える

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>【地域交流】</p> <p>行っていない</p>	<p>様々な区から通っているため、北区麻生地域との交流はほとんどない。また、地域交流を望まない、通っていることを大々的に知らせたくない家庭も増えているため、個人情報に配慮すると行えない現状がある</p>	<p>今後通所学生・保護者が地域交流を望む声が挙げれば実施する</p>
2	<p>【不登校支援】</p> <p>アンケート結果からの弱みではないが、不登校傾向にある生徒の出席扱いに認められていることは強みだが、不登校生徒の進学サポートは確立しきれていない</p>	<p>不登校生徒の進学サポートを行う機会が少なかった</p>	<p>合同での学校見学会や受験情報提供など、これまでの取り組み以外でもサポートできることがないか考えて取り組む</p>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トランジットジュニア lit

公表日 2026年 4月 1日

実施数 38

回収数 30

	チェック項目	はい	どちらともいえない		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			いいえ	いいえ			
環境・体制整備	1 活動等のスペースが十分に確保されていますか	29			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか	25	1		4		
	3 事業所は、子どもにわかりやすい環境になっていますか。また、事業所の設備は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切ですか	23	4	1	2		
	4 事業所は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか	28	1		1	・消臭剤か、芳香剤の香りが服に染み付いてくることがでも気になります。	環境を整えるため、入り口に芳香剤を置いています。無香料の脱臭剤に変えるなど、香りにも配慮していきます。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか	22	2		6	・とても楽しく通っています ・子どもの心に寄り添った関わりや言葉掛けをしてくださるので安心して送り出せます ・まだお話ししたスタッフしていないスタッフがいるのでまだわからない ・利用者のお子さんで、匂いが強いと感じる子がいるようです。職員のかたにご相談したけど特に変わらないと申告でした。難しい問題かと思いますが、特性上匂いに敏感なところもあるので配慮いただくことはできないでしょうか。	ひとりひとりが安心して通えるように、環境調整を行っていきます。
	6 事業所がホームページ等で公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	28	2				
	7 個別支援計画（3ヵ月目標）について、子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、作成されていると思いますか	28	1		1		
	8 個別支援計画（3ヶ月目標）に沿った支援が行われていると思いますか	24	2		4		
	9 児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか	5	6	7	12		参加希望者には、地域の高校生をボランティアとして招き、月2〜3回ほど交流する機会があります。
保護者への説明等	10 事業所を利用する際に重要事項（運営規程、支援プログラム、利用者負担等）について丁寧な説明がありましたか	30					
	11 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか	27	2		1		
	12 事業所では、家族支援や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか	28	1		1		
	13 日頃から子どもの状況を「あしあと帳」などを通して保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか	28	2			・子供の成長が見れる ・いつも確認忘れてしまっていますが、時々拝見しています。いつもありがとうございます ・どんな活動をしたのか更新してくれているので、わかりやすいし有難いです	いつもあしあと帳。をご覧いただき、ありがとうございます。
	14 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか	13	7	4	6		希望される方に実施しています。
	15 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか	24	5		1		
	16 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられたり、きょうだい向けのイベント等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族支援は行われていますか	20	3		7	・保護者会の回数が増えると嬉しいですが、私が知らないまたは行けてない	半年に1度、保護者会を開催しています。
	17 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	21	2	1	6	・子供からの申し入れに対して、現在はわかりませんが、以前は、現状を子供本人に話されていなかったことがありました	不安に思うことは、日々お伺いして解消していきます。
	18 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	26	3		1	・よく寄り道を遅れていて親からは直接今日は遅刻しないようにと伝えては変わらない。支援が行われているかどうかわからない	社会のルールとして時間を守ることへの支援を行っています。学校の手定で遅くなるなど学生だからその理由もありますので、ひとりひとり保護者のみなさまと一緒に支援して行きますと幸いです。
	19 定期的にホームページ・SNS・あしあと帳、等で、活動概要や行事予定等の情報が、子どもや保護者に対して発信されていますか	30					
20 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか	25			5			

非常時等の対応	21	事業所では、事故防止・緊急時対応・防犯・感染症等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		17		
	22	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10		1	19	・避難訓練あったことの話も子供からは聞いたことありません	避難訓練は年1回実施していますが、タイミングによって参加できない曜日・時間帯の場合があります。
	23	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			14		
	24	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		1	14	・怪我や事故の経験がないためわからない ・今まで事故や怪我はないです ・本人から聞いていない為	事故や怪我の発生がありません。
満足度	25	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	1				
	26	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	4			・とても楽しみにしています！	いつも楽しく通ってくださってありがとうございます。
	27	事業所の支援に満足していますか。	25	5			・本人はもう少しスタッフの方と話したりしたいようですが、時間が足りないようです ・検定なども受けさせていただき感謝です ・モチベーションがないと満足して通所できないので、取り組むことがマンネリ化してきたら、何か提案したり話し合いをして新しい取り組み内容を作って欲しい	みなさんが楽しく通えるように、ひとりひとりに合わせた対応を継続していきます。